
狂い咲く世界

天海 翠

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

狂い咲く世界

【Zマーク】

Z6213Z

【作者名】

天海 翠

【あらすじ】

きっと誰にも聞こえないであらうこの願いは誰の為でもなく自身の為。

「誰も僕を助けないで」

そして……

序章の序章（前書き）

初投稿 + 処女作ですので、何処に向かつか分かりません。
暴走注意です。

また、更新は極度の不定期になります。

主の気分で急に消え去るやもしれません。

タグのR15と残酷描写は保険ですので、期待はしないでください。
色々と保証はありませんので、自己責任でお願いします……。

序章の序章

きっと誰にも聞こえないであらひの願いは誰の為でもなく自身の為。

我ながら女々しいと思ひながらも呑くのは止めない。

「誰も僕を助けないで」

空も海も深く蒼く、草原や森は鮮やかに輝き、数多の生物はその中の各々の繩張りで静かに活気を満ち溢れさせている。

今日は季節の変わり目の嫌われ者である湿氣が、薄い膜のようにモノ同士の境界線を変色させるでもなくふわりと絡ませており、その形と色彩の調和が殊更に綺麗だ。

そう思つてから、

「ああ、そつか」

僕は少しだけ理解した。

僕の体は確かにこの世界を愛しているんだ と。

渦巻くように吹く風が飾花を散らし、共に舞い踊つては器を造る。器は祈りの詞をたどり、戯れに崩れては揺蕩い定まる。

その様は神々しくもどこか不穏で、幻想的な空間には不相応なえも言えぬ危うい緊張感が漂つ。

全ては僕を取り巻く現状。全ての中心に僕は浮かぶ。

そして

序章の序章（後書き）

後書き 誤字・脱字・「」読みについて…・「」にしてたらええん
ちやう？ 等々、

何かありましたらコメント頂けるとありがたいです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6213z/>

狂い咲く世界

2011年12月20日21時46分発行